

自由詠

題詠『雑巾』

昔 息子が幼かったころ
「一人でできるもん」と
言い張った
その息子が私に
「大丈夫？ できる？」

玉田 久美子



使い古しのタオルで
チクチク雑巾を縫う
力いっぱい
拭く拭く磨く
床も壁も心も清し

かよべえ



そろそろ断捨離

まずは紙類 本など
次に布類 洋服など
そして趣味のもの
これが一番捨てにくい

宮島 かつえ



古くは「浄巾じようきん」と呼んだらしい
拭き掃除の必須アイテム
穴が空き、千切れそうになるまで
使いに 使う
ありがとうございます！ お疲れさまでした

杉下 啓恵

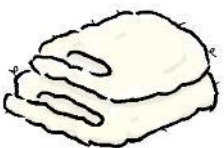


我が人生
振り返り
良しも悪しきも
ひっくりめつて
これで良し

杉本 明美

我家の雑巾
古いタオルを
ミシンもかけず
そのまま使う
雑巾のまま

杉本 明美



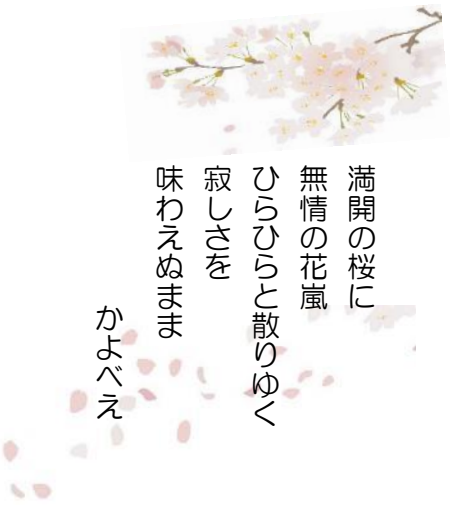
きりきりしと
木の
てっぺんまで
風が吹きあがる
五月



岡本 まさ子

満開の桜に
無情の花嵐
ひらひらと散るのへ
寂しさを
味わえぬまま

かよべえ



着古したTシャツや
セーターなど
雑巾にする
やわらかいやさしい手触り
物の最後をみおくる

宮島 かつえ

